

西脇町長⑤と神野取締役兼
常務執行役員（エイト日本
技術開発提供）



だ。空き家、空き地、空き店舗などの地域資源を発掘・活用し、活気あるまちづくりにつなげる。同社は空き家などの活用に向けた調査、企画、実証、事業化検討などを実施する。

同町は人口減少が進み、空き家が点在している。同日の協定締結式で西脇康世町長は「空き家は300軒ほどある」とし、「協定がまちおこしの一つのきっかけになれば」と語った。

エイト日本技術開発の神野取締役兼常務執行役員は「関ヶ原町は古戦場や東西日本を結ぶ要衝などの貴重な地域資源がある。地域住民や団体と連携しながら、どんなまちづくりができるか検討したい」と述べた。

エイト日本技術開発の関連会社である日本自動車道（増田真一代表取締役）は、町内に本社を構えている。2006年から同町を通る有料道路「伊吹山ドライブウェイ」を運営し、関係を深めてきた。

空き家などを活用し
活気あるまちづくり

エイト日技、岐阜・
関ヶ原町と協定締結

エイト日本技術開発と岐阜県関ヶ原町が7月31日に、「空き家等地域資源の活用に関する協定」を結ん

